

**芸術文化団体経営実態調査
調査票
－文化財団編－**

ご多忙中大変恐縮ですが、以下の調査票にご記入いただきますようお願い申し上げます。なお、ご記入後は、平成 25 年 12 月 27 日（金）までに同封の返信用封筒に入れて、郵便ポストへ投函してください。（切手を貼る必要はありません。）

【お問い合わせ先】

静岡文化芸術大学 文化・芸術研究センター アートマネジメント人材育成グループ
〒430-8533 静岡県浜松市中区中央 2-1-1
電話：053-457-6138（月～金 10：00～17：00） E-mail：arts-mgt@suac.ac.jp

A. はじめに、貴財団の基本的な情報についてお伺いします。

問 1. 平成 24 年度の貴財団の属性について、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 公益財団法人
2. 一般財団法人
3. その他 []

問 2. 貴財団の設立年についてお答えください。また、法人格が途中で変わった場合は、法人格を最初に得た年と現在（回答時点）の法人格を得た年をお答えください。

設立年：西暦 _____ 年 法人格を最初に得た年：西暦 _____ 年
現在の法人格を得た年：西暦 _____ 年

問 3. 貴財団は施設の指定管理者となっていますか。「1. いる」の場合、指定管理者となっている施設の種類、施設数、業務内容についてお答えください。

1. いる →次頁の表「指定管理の状況」にお答えください。
2. いない

< 指定管理の状況 >

種類	指定管理施設数			
	計	管理系業務 ※1	事業系業務 ※2	管理系と事業 系の両方
①美術博物館				
②美術博物館以外の博物館				
③劇場・音楽堂等				
④社会教育系施設				
⑤図書館				
⑥その他の施設 []				

※1 主に総務、人事・労務、財務・会計、設備管理等に関する業務。

※2 主に文化事業関係の企画（公演、展覧会等）、事業広報・営業、教育普及等に関する業務。

問4. 貴財団は施設を保有していますか。「1. いる」の場合、保有している施設の種類の、施設数についてお答えください。

1. いる → 下表「財団としての施設の保有状況」にお答えください。
2. いない

< 財団としての施設の保有状況 >

種類	施設数
①美術博物館	
②美術博物館以外の博物館	
③劇場・音楽堂等	
④社会教育系施設	
⑤図書館	
⑥その他の施設 []	

B. 次に、貴財団の構成員についてお伺いします。

問5. 平成24年度末の貴財団の役員の総数及び常勤の人数をご記入ください。なお、「監事」については、記載する必要はありません。

	総数 (人)	
	うち常勤 (月16日以上勤務)	
理事		
評議員		

問6. 平成24年度末の貴財団の問5以外の構成員とその属性について、人数をご記入ください。構成員は、雇用形態に関わらず当該業務に従事している人を対象にしてください。複数の業務を兼務している場合は、その比重が一番高い項目に人数をご記入ください。(管理系業務が4割、事業系業務が6割という職員の場合は、事業系業務欄にご記入ください。)

	総数	うち常勤 (月16日以上勤務)				うち非常勤 (月16日未満勤務)		うちパート・アルバイト (時給制)		うち協力会社からの派遣職員 (請負契約)	
		うち常勤 (月16日以上勤務)	うち他機関からの出向者※1	うち任期付 契約社員を含む	うち女性	うち非常勤 (月16日未満勤務)	うち女性	うちパート・アルバイト (時給制)	うち女性	うち協力会社からの派遣職員 (請負契約)	うち女性
総数 (①+②+③)											
① 財団本部に勤務している職員											
うち 管理系※2											
うち 事業系 (文化事業関係) ※3											
② 指定管理施設に勤務している職員											
③ 指定管理以外の管理施設等に勤務している職員											

※1 自治体等からの出向者。

※2 主に総務、人事・労務、財務・会計、本部広報に携わっている職員をご記入ください。

※3 主に財団本部で実施する文化事業関係の企画、事業広報・営業、文化振興事業 (助成・研修等)、教育普及に携わっている職員についてのみご記入ください。主としてスポーツ事業、福祉事業、まちづくり事業等に従事している職員は含みません。

C. 次に、貴団体の財務についてお伺いします。

問8. 平成24年度の収入について金額をお答えください。千円未満は切り捨ててお答えください。(合計の際に千円単位に切り捨てたことによる誤差が生じて構いません。)

		A. 総計 (A=B+C+D)			
			B. 本部	C. 指定管理施設	D. 指定管理施設以外の管理施設等
計		千円	千円	千円	千円
1. 基本財産運用益		千円	千円	千円	千円
2. 特定資産(財産)運用益		千円	千円	千円	千円
3. 事業収入(指定管理料を除く)		千円	千円	千円	千円
① 設置自治体からの受託事業		—	千円	—	—
② 入場料、参加料、受講料		—	千円	—	—
③ 協賛金		—	千円	—	—
④ 主要施設使用料※1		—	千円	—	—
⑤ その他施設・設備使用料※2		—	千円	—	—
⑥ その他の事業収入(広告宣伝料、書籍・グッズ販売収入、その他の受託事業等)		—	千円	—	—
4. 指定管理料		千円	—	千円	—
5. 補助金・助成金		千円	千円	千円	千円
①公的支援	i 国 文化庁・基金	千円	千円	千円	千円
	ii その他の国からの支援	千円	千円	千円	千円
	iii 地方公共団体(含自治体財団)	千円	千円	千円	千円
	うち 公募	千円	千円	千円	千円
②民間支援	i 助成財団	千円	千円	千円	千円
	うち 公募	千円	千円	千円	千円
	ii 一般企業	千円	千円	千円	千円
※寄付金扱いのもの は除く	うち 公募	千円	千円	千円	千円
6. 寄付金		千円	千円	千円	千円
①個人		千円	千円	千円	千円
②法人		千円	千円	千円	千円
7. 会費		千円	千円	千円	千円
①個人		千円	千円	千円	千円
②法人		千円	千円	千円	千円
8. その他※1~7以外の大きな収入がある場合 ()		千円	千円	千円	千円

※1 ホール、展示室、会議室等、施設の主要な機能の使用料。

※2 駐車場、飲食施設、オープンスペース、照明・音響機材等、施設の付帯的機能の使用料。

問9. 平成24年度の支出について金額をお答えください。千円未満は切り捨ててお答えください。(合計の際に千円単位に切り捨てたことによる誤差が生じて構いません。)

		A. 総計 (A=B+C+D)			
			B. 本部	C. 指定管理 施設	D. 指定管理 施設以外の 受託事業等
計		千円	千円	千円	千円
人件費	1. 直接雇用している雇用者への給与・賞与	千円	千円	千円	千円
	うち、役員報酬費	千円	千円	千円	千円
	うち、給与・賞与	千円	千円	千円	千円
	うち、非常勤職員報酬	千円	千円	千円	千円
	うち、臨時雇賃金費	千円	千円	千円	千円
物件費	2. 管理部門 ※土地、建物、機械、備品、システム開発等施設運営全般にかかる経費。警備、光熱費も含む。	千円	千円	千円	千円
	3. 事業部門 ※事業にかかる直接経費。事業委託費、事業の広報費、備品・消耗品費、会議費、交通費、通信費、他の施設を使用した際にかかる施設賃貸費など。	千円	千円	千円	千円
	うち 財団から芸術文化団体に支出している補助金	千円	千円	—	—
	4. その他 ※1～3以外で大きな支出がある場合 ()	千円	千円	千円	千円
その他経費	5. 債務返済など ()	千円	千円	千円	千円

D. 次に、貴財団の事業についてお伺いします。

問10. 貴財団が独自で実施する文化振興事業（自主事業）の活動分野について、あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）※指定管理施設等が実施する事業は除きます。

1. 美術（絵画、工芸、彫刻など）
2. メディア芸術（映画、映像、写真、マンガ、アニメーション、インスタレーション、デザインなど）
3. 音楽（ポピュラー音楽、クラシック音楽、吹奏楽、合唱など）
4. ダンス・舞踊（バレエ、現代舞踊など）
5. 演劇（演劇、人形劇、ミュージカルなど）
6. 伝統芸能（歌舞伎、人形浄瑠璃、能楽、狂言、邦楽、邦舞、雅楽、声明など）
7. 大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才、奇術、太神楽など）
8. 生活文化（華道、茶道、書道など）
9. 文化遺産
10. その他 []

問11. 貴財団が独自で実施する文化振興事業（自主事業）の事業形態について、あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）※指定管理施設等が実施する事業は除きます。

1. 公演
2. 展覧会
3. 国際交流
4. 収集、修復、保存
5. 出版
6. 調査研究
7. 人材育成、研修、留学
8. 助成、奨学金、顕彰 →問14から16にもご回答ください。
9. その他 []

問12. 貴財団が設置自治体からの受託により実施する文化振興事業（受託事業）の活動分野について、あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 美術（絵画、工芸、彫刻など）
2. メディア芸術（映画、映像、写真、マンガ、アニメーション、インスタレーション、デザインなど）
3. 音楽（ポピュラー音楽、クラシック音楽、吹奏楽、合唱など）
4. ダンス・舞踊（バレエ、現代舞踊など）
5. 演劇（演劇、人形劇、ミュージカルなど）
6. 伝統芸能（歌舞伎、人形浄瑠璃、能楽、狂言、邦楽、邦舞、雅楽、声明など）
7. 大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才、奇術、太神楽など）
8. 生活文化（華道、茶道、書道など）
9. 文化遺産
10. その他 []

問13. 貴財団が設置自治体からの受託により実施する文化振興事業（受託事業）の事業形態について、あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）※指定管理施設等が実施する事業は除きます。

1. 公演
2. 展覧会
3. 国際交流
4. 収集、修復、保存
5. 出版
6. 調査研究
7. 人材育成、研修、留学
8. 助成、奨学金、顕彰 →問14から16にもご回答ください。
9. その他 []

問14～16は、問11、問13で「8. 助成、奨学金、顕彰」に○を回答した財団のみにお伺いいたします。それ以外の方は10ページのFにご記入いただき、質問は終了となります。

問14. 平成24年度の貴財団の助成事業について、各項目に数字をご記入ください。なお、「件数」とは、採択件数（採択者数）ではなく、プログラムの種類の数を指します。

	件数	応募方法（複数回答可）	選考方法
助成		1. 公募 2. 推薦 3. その他 []	1. 選考委員会 2. 財団内部 3. その他 []
奨学金		1. 公募 2. 推薦 3. その他 []	1. 選考委員会 2. 財団内部 3. その他 []
顕彰		1. 公募 2. 推薦 3. その他 []	1. 選考委員会 2. 財団内部 3. その他 []

問15. 貴財団の助成事業の活動分野について、あてはまる番号に○をつけてください。（複数回答可）

1. 美術（絵画、工芸、彫刻など）
2. メディア芸術（映画、映像、写真、マンガ、アニメーション、インスタレーション、デザインなど）
3. 音楽（ポピュラー音楽、クラシック音楽、吹奏楽、合唱など）
4. ダンス・舞踊（バレエ、現代舞踊など）
5. 演劇（演劇、人形劇、ミュージカルなど）
6. 伝統芸能（歌舞伎、人形浄瑠璃、能楽、狂言、邦楽、邦舞、雅楽、声明など）
7. 大衆芸能（落語、講談、浪曲、漫才、奇術、太神楽など）
8. 生活文化（華道、茶道、書道など）
9. 文化遺産
10. その他 []

問16. 貴財団の助成事業の対象事業について、あてはまる番号に○をつけてください。(複数回答可)

1. 公演
2. 展覧会
3. 国際交流
4. 収集、修復、保存
5. 出版
6. 調査研究
7. 人材育成、研修、留学
8. その他 []

F：最後に、ご回答いただいた担当者や連絡先等についてお答えください。

■ 貴財団名 _____

■ 所在地 [] 県 [] 市・町・村

■ ご担当者部署名 _____

■ ご担当者名 _____

■ 連絡先 TEL _____

E-mail _____

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。